

熊野を楽しむ達人の会 第17回例会 記録

三重・紀南エコツーリズム ガイドから“とっておきの熊野”へのお誘い

『立間谷の絶景』

～新緑に包まれた三つの滝と屏風岩～

実施日：平成19年5月19日

場 所：熊野市紀和町

参加者：11名(男性8名、女性3名)

第17回例会を熊野市紀和町和気にある立間戸谷で実施しました。明け方まで降っていた雨も上がり、上天気になりました。和歌山県串本町や新宮市、三重県熊野市、南牟婁郡などから11名が集まり、三重・紀南エコツーリズムガイドの山川治雄さん、中村稔さんの案内で登山口を出発しました。

四季折々に違う姿を見せてくれる立間戸谷は、どの季節に訪れても自然が作り出した滝や岩々の景色が素晴らしいところですが、この時期は新緑が素晴らしく更に楽しめるコースとなっています。



谷幅いっぱい巨岩がゴロゴロと積み重なり、所々に大人が楽に入れる隙間が開いています。その岩々を潜り抜けると急に視界が開け、谷の左岸を見上げると柱状節理の岩壁が現れます。目の前にある岩々があの上から崩落して、この谷に積み重なって来たのだらうと考えると、人間の力など及ばない自然の驚異をあらためて感じさせられます。



登山道から、流れる水の音を頼りに谷へ下りていくと「源助の滝」に到着しました。滝は2段で約30mの高さがあり、左岸は岩壁がたちはだかっています。川の水が直線状に流れ落ちる滝の下は岩がゴロゴロとしており、滝壺が無いので滝の真下まで近づくことができます。

再び登山道に戻り、しばらく急な登りが続きます。岩壁につけられた急で細い登山道には所々に石積みがされています。先人が石をどのように積み上げたのか、その苦勞も偲ばれます。



ようやく、河原の真ん中にヒノキの大木が立つ通称「ヒノキ平」に到着して休憩。ヒノキの新緑がとても綺麗でした。

次は牛鬼滝を目指します。右岸の登山道を少し進み、谷を渡り左岸の道が無い斜面を登ります。下から登る人に落石をしないよう注意をはらって進むこと約20分、牛鬼滝に到着です。



最終目的地を目指し大岩がゴロゴロと積み重なっている岩場を上がると、聳え立つ絶景の屏風岩と屏風滝が私たちを待っていました。



参加者からは、「熊野にこんなすばらしいところがあるとは思わなかった」、「滝も岩もすごい、新緑の美しさに感激です」、「久しぶりに充実した時間で、大満足しています」などの感想をいただきました。

以上